

製品名: CELF-2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86936**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa

抗原情報

遺伝子名	CELF-2
別名	ETR3; ETR-3; NAPOR; CELF-2; CUGBP2; BRUNOL3; CUG-BP2
遺伝子ID	10659
SwissProt ID	O95319
免疫原	ヒト CELF-2 の組み換えタンパク質

背景

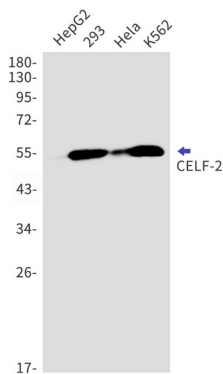
CELF/BRUNOL タンパク質ファミリーのメンバーは、2つの N 末端 RNA 認識モチーフ（RRM）ドメイン、1つの C 末端 RRM ドメイン

ン、そして第2および第3のRRMドメイン間の160~230アミノ酸の分岐領域を含む。このタンパク質ファミリーのメンバーは、pre-mRNAの選択的スプライシングを制御し、mRNA編集および翻訳にも関与している可能性がある。選択的スプライシングは、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションをもたらす。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



CELF-2抗体（1:1000希釈）を使用したHepG2,293、HeLa、K562細胞溶解物中のCELF-2のウエスタンブロット検出。